

議事概要

件 名：第1回てだこ浦西駅交通結節機能強化検討会

開催日時：令和7年8月19日（火）

意見区分	構成員意見要旨
P&R 駐車場の利用について	<ul style="list-style-type: none">✓ 現状として P&R 駐車場は満杯であり、幸地 IC の開業後は、中北部方面から那覇への通勤に対応できなくなる可能性があるため、P&R 駐車場の増設は一番の課題と考える。✓ 駐車場を増やして欲しいという意見がある一方で、駐車場が増えると自動車の増加につながるため、駐車場の増設はしない方が良いと考える。✓ 浦添市、西原町、宜野湾市などの距離から車で来ている人をバス利用などに転換することで、現状の P&R 駐車場の容量でも沖縄市やうるま市からの利用をカバーできるのではないか。
バス結節について	<ul style="list-style-type: none">✓ 高速バスはてだこ浦西駅に乗り入れることによって遠回りになるため、乗り入れが難しい状況である。✓ 現状の駅前広場は休憩施設が不十分である。実証実験ではそのような部分も考慮してほしい。
乗り換え案内強化について	<ul style="list-style-type: none">✓ リアルタイム運行情報のデジタルサイネージを導入してほしい。✓ 隣接するイオン内(フードコート)でバスを待てるといい。✓ 乗り換え割引などがあると良い。
観光移動について	<ul style="list-style-type: none">✓ 高架下のレンタカーの配置により、空港からの利用者をゆいレールに集め、中北部方面にアクセスできるようになれば、空港の混雑緩和に繋がるのではないか。
にぎわい創出について	<ul style="list-style-type: none">✓ てだこ浦西駅自体を目的地にするにはということと、駅周辺の集客施設とどのように結節するのかということがポイントと考えられる。✓ 新たに住宅地が開発されるとなると、若い世代が増加することが想定されることから、子育て環境向上の他事例も活用できるのではないか。
周辺アクセス・利用空間について	<ul style="list-style-type: none">✓ 幸地バス停移設後は徒歩での移動が難しくなるため、乗換利用者の専用道や小さなモビリティ導入、またその先のバス停では、屋根や公衆トイレ等の設置による結節強化策があると、利用の促進につながると感じる。✓ 住宅地と商業施設を結ぶ道（区画整理地内中央付近）が重要なので、歩きやすくしたり、自転車で通りやすくすると、その地域の人が駅の利用者が増えるのではないか。